

初日のかげに

かほるらん』

二見か浦

東 久米子

横雲わかれて

今ぞあくる

二見か浦和の

朝のみそら

ほのく句へる

霞わけて

豊さか昇るや

初日の影

七福神

小林 恒子

樂しき天のみ園より

この世の幸をもたして

年の始にはらくと

たからの神の七はしら

降り来ませるよき日を

空ものどかにかまつゝ

たふたき恵とこととはに

かはらぬ春の千代八千代

新年五首

佐々木信綱

船中新年

妻子らと屠蘇の酒くまず五たびの

春にしわひぬ舟の上にして

山上新年

むら山の高きにのほり見さくれは

ひびがしの海初日出むとす

田家新年

都より歸りし子らともろともは

年はささけをくむわした哉

旅中新年

はかなくも年を迎へてさすらへの

我身かなしき旅すかた哉

書窓新年

ふるき書つみかさねたる文机の

わたりはき清め年を迎ふる